

# 時局下の道路維持に就て

河村 協

道路こそは一國々民經濟の血管であり、國防完遂の根幹をなすものである。従つて、道路を見れば其の國の産業、文化の發達の程度が測り得るとさへ謂はれてゐる。即ち、道路は、其の國の國家水準を決定するものであると言ふも過言ではあるまい。

然るに道路は、純然たる公共の機關であり、空氣や水と同様にあまりに、日常其の恩澤に浴し過ぎてゐるためか、直接一般公衆の關心の圈外に置かれ、従つて、其の價値を認めてゐる者は少ない様に思はれる。尙、たとへ其の重要性を認めてゐる場合に在りても道路は單なる交通機關に過ぎないと言ふ皮相的觀念に支配せられて、物資輸送と言ふ重大使命を遂行しつゝあることに對しては、無意識的な者が多い様である。

今や、聖戰遂行に當り、物資の移動は戦前に比して著しく増加

之が増強を圖ることは戰時下國策遂行上喫緊の急務である。軍隊の移動軍需資材の輸送等は申すまでもなく、工場への材料蒐集及び其の搬出並びに工場相互間の連絡、生産地と輸出港或ひは消費地との連絡、又は生産地相互間の連絡等、生産力の擴充も、國防の充實も、或ひは物動計畫の實施、國民生活必需品の配給も、凡ゆる物資は圓滑なる輸送に俟たなければならぬ。加ふるに日、滿、支、南洋を包含する大東亞共榮圈の確立に思ひを致すとき、交通運輸の整備完壁を期するの要愈々重大なりと言はなければならぬ。而して、道路運輸の價値は、主として其の路面の性質に基因して定まるものであるから、道路維持の實務は益々重大なりと痛感する次第である。

## 二

百餘年の昔、誰かゞ。彼の有名なマカダム氏に『立派な道路を

作るに最も重要な原則は何であるか」と尋ねたところ、彼は答へて曰ふに『道路の建設に成功するには三つの原則がある。即ち排水、排水又排水である』と。

一に排水、二に排水、三に排水、寔に排水こそは道路の生命である。排水こそは道路維持の根本原則であり、修路の根本要諦である。従つて、路線の選定に當りては、乾燥し易き箇所之を選ぶことが原則でなければならぬ。即ち、路線は、日當りの良好なる南向の土地、又は風通しの良い所、或は天然排水の良好なる所之を選定すべきである。

然るに此の重大なる根本原則は、從來、あまり強調されたるを聞かず、又、其の考慮の拂はれてゐるものも僅少である。のみならず却つて排水を阻害してゐるものを發見して驚かされることがある。尤も、從來は、たとへ其處に留意されたる場合と雖も、資本主義的自由主義の舊體制下に在りては、技術者は全く疎んぜられて、其の意見は一向採用されるに至らず、却つて蹂躪せられる場合が多かつた路線は、一般に南北に互つてゐるものが良好である。それは日當りが良いからである。即ち、特別の理由のない限り南北に通じてゐる路線の路面は常に良好である。反對に、東西に貫通してゐる路線は、多くの場合不良である。それは日當りが悪いからである、主として朝陽夕陽を受くるのみであつて、就中人家の連擔箇所在りては其の傾向が著しい。

三

滋賀縣内の國道第二號線は、主として東西に走つてゐる路線であるから概ね其の路面は良好でない。然も其の殆んどは未改修であつて側溝がない。日當りが悪い上に排水の設備がないのである。それでは、總ての悪條件を具備してゐるのであるから、路面が良くないのは當然なことである。

此の原因を除去するために、筆者は責任以來極力側溝の新設を勵行し來つたのであるが、時恰も重大時局下、物資の節減に特別の努力を要するの時であるから、側溝設置に要する材料は特に吟味しなければならぬ。從來は側溝と言へば、直ちに、それも殆んど無意識的にコンクリートを以て施工し來つたのであるが、近來、セメントは單に品質が低落したばかりではなく、量の不足をも招來してゐるのであるから、其の使用は抑制すべき時であり、尙未改修區域にコンクリート側溝を新設するのは考慮すべきことである。次に考へられるものは石材であり、而して石材は入手出來得るものではあるが高價である。次に木材は比較的安價ではあるが耐久的でない。

茲に於て筆者は、豫てより時折使用してゐた『ジャのひげ』に着眼したのである。『ジャのひげ』とは、普通人家の軒下や、並木敷等に叢生してゐる常綠絲狀の草であつて、球形の果實の如き小

粒のものが果る。子供達は喜んでそれを竹鐵砲の彈丸に使つてゐる。——其の故か、鐵砲ダマ、フキダマ、ハヅミダマなど俗稱されてゐるものであり、牧野『日本植物圖鑑』には次の如く記述してある。

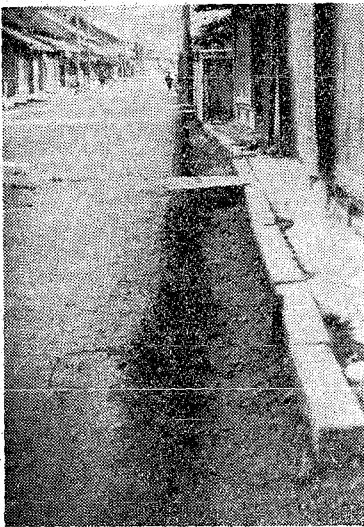
ジャのひげ (麥門冬) 一名、りゆうのひげ

山林樹下の陰地に生ずる多年生常綠草本にして、人家にも亦之を植ゑ、往々大なる株を成す。短き根莖より長き鬚根を多數に生じ、鬚根は處々肥厚して小塊を成す。葉は多數叢生し、細長にして絲狀を成し、質硬く先端鈍頭を呈す。長さ一〇—三〇浬許、幅二浬許あり。初夏葉間に花莖を描き葉よりも短く上部に偏側性の疎なる總狀花序を成し、淡紫色或は稀に白色の小花を開く。膜苞間より出づる小梗に二花を着けて下向す。花蓋は六片にして同形平開し、各片稍長橢圓形を成す。雄蕊六箇、花絲は短く約は長し子房は半下位にして三室。花柱は小圓柱狀、三分せる柱頭を有す花後碧色球形の果實狀に見えるは實は果實に非ずして種子にして果皮發達せざる爲め裸出せるなり。此の種子をはずみ玉などと稱して子女弄ぶ。根の塊狀部を藥用に供せらる。和名蛇の鬚並に龍の鬚は共に其の葉狀に基きし名なり。支那にて書帶草と稱し机上の清玩に供するものは即ち本品なり。

此の『ジャのひげ』を以て路肩の維持材料とし側溝を作るのである。其の方法は、先づ、側溝を所定の形狀に掘鑿して路肩を形

成し、而して『ジャのひげ』を路肩より五—六浬程度低く疎らに並べ、其の上に所定の路高まで土を被せて踏み固めるのである。至極簡單に然も急速に出來上る。どんな所にも植ゑ付けられ、且、繁殖が旺盛であるから、あまり叢生した時には、之を間拔いて又他の路肩に使用することが出来る。

『ジャのひげ』は、殆んど到るところに發生してゐるものであり而して、他に之と言つて利用の方法もあまり見當らない、現時局下とは殆んど無關係のものであるから、大いに使用せられんことを切望する。尙、其の價格は殆んど無代に等しく、然も永久的であり、且、常綠であるから外觀も非常に美しい。たとへ戦時にあらずとも側溝材料としては誠に適切なものと思ふのである。



寫眞は其の一例を示すものであつて、人家中のものなどは、仲々に捨て難い雅趣のあるものである。此の側溝を、最近一ヶ年の間に、約三千米も施工した。

然しながら茲に難點がある。それは勞力不足の問題である。元來戰時に於ける一般國民生活は、必然に生ずる物の不足に對する擬まざる戰でなければならぬ。材料が不足するのみではない。忘れられない重大問題は勞力不足の問題である。側溝の設置に勞力を振り向ければ、其の他の路面修理に要する勞力は、皆無となるの現狀である。

#### 四

抑々、人と物との兩力で、自然に打ち克つのが技術の本領なのである。人に關する問題を差置いては、技術を語り得ない譯である。況んや戰時に於ては尙更のことである。而して現在物資の不足に對しては、科學者技術者の精進に因り着々と克服の實績が擧げられつゝあるも、他方勞力の獲得は、誠に困難な状態にある。

今更獨逸でもあるまい、と言はれるかも知れないが、獨逸の義務勞働制度は、吾々に多大な示唆を與へるものである。茲に、森川覺三著『ナチス獨逸の解剖』に依つて、其の概要を伺つて見よう。

『義務勞働制は、ナチス治世の當初に於て存在した失業者救済の

補助とか、當時規定することの來出なかつた兵役義務の代行とか、或は單なる國防軍の補助的準備機關とか、更に國民食糧増收のため側面援助等が主なる目的ではなくて、ヒットラー總統の意志に依る獨逸青年に對する遠大なる且新しい様式の學校である。従つて一時的の新設ではなく、獨逸帝國存する限り永遠に存在し凡青年を抱擁し、總統の意志に依る獨逸民族への勞働義務を果し、國民協力の下に、其の遠大なる理想を實現せねばならぬ課題を持つてゐるのである。總統が特に國民社會主義大學とまで名付けられたる此の制度の効果は、全國民が一人殘らず、一度は此の學校に學んだ經驗を有するに至つて始めて其の實體を現はすであらう。

と、ナチスは主張する。實に堂々たる目標と言ふべきである。一つの國民總教育の機關として、義務兵役制度と共に其の準備ともなり、又種々の効果を狙つたナチス流の一石三鳥四鳥を期したのであつた。従つて單に文字の上から勞働奉仕團など、譯されて恰も勞力を國家へ進んで奉仕する一種の義勇團運動の如く解されてゐる虞れがないでもないが、右宣言内容に依つて明らかな如く確乎たる一つの國民義務となつてゐるのであつて、好むと好まざるとに拘らず獨逸國民である限り、而して不具、廢疾者でない限り、一度は必ず通らねばならない關門であつて、總統令を以て規定せられた嚴然たる掟であることを忘れてはならない。

其の機構は、全國を三十の勞働地區に分ち、其の各地區の最大都市に義務勞働團、各區指導事務局を設け、各地區内に夫々其の土地の狀況に依る勞働集團を配置することとした。而して、此の義務勞働制を以て、先づ、其の土地を根本的に干拓するため、排水の土木工事を興し、土木技術者や農業技術者を配屬し、斯くして完全なる機構を造つた上で、國民一般に男子滿十八歳、女子滿二十一歳に達するや、一齊に此の義務に服することを規定し、男子六ヶ月、女子三ヶ月を一期として、一九三五年四月一日より實行したのである。

男子は干拓、治水、獨逸國道局管理以外の道路の建設、集團農村住宅、市街地郊外の住宅群新設運動の準備工事を引受ける。而して、男子勞働團に對しては、稍々恒久的な然し極めて粗末な宿舍を各地に建設し、工事進捗と共に次へ移轉するやう計畫され炊事は勿論自炊であるが、食料品、コーヒー、煙草等まで含み各州農業組合より無償支給され、勞働服、ゴム靴、土木工具類は國家より支給される。

女子は主として農家收穫時の手傳ひ、收穫後の手入れ等稍々輕度の勞働に従事させ、臨時に天幕村を作らせて自炊し、勞働時間以外は、各種の講師を派して、主婦としての必要な智識を習得させる。

斯くの如き義務勞働制度が、獨逸には實施されてゐるのであ

る。

## 五

今や、日、米英戰の幕は切つて落されたのだ。世界の三大強國が、各自の國運を賭して相搏つ、血の決闘は展開されたのである。憶へば永い年月の間、よくも、我國は隱忍自重をしたものだ。

渾しなきシベリヤの荒野に羚羊の一群があつた、突如狼に襲はれた。或ものは狼牙に裂かれて倒れ、或ものは傷けるを助けて逃げ惑ふ有様は實に悲惨の極みであつた。此の光景を目撃して心打たれてクロボトキンは、あの有名な『相互扶助論』を書いたと聞く。近世三百年の亞細亞民族の歴史は、全く狼に襲はれた羚羊の群にも等しかつた。英國の武力東漸、米國の經濟侵略、ソ聯の南下政策等に依つて、或ものは奴隸となり、或地方は殖民地となり又或國は半殖民地と化したのであるが、嚙々遂に起つた。堪忍袋の緒が切れた我國は遂に決然と立ち上つたのである。大東亞十億民衆の相互扶助國家を建設するために、世界の二大強國米英を東西に引き受けて、隆々として起つた大和民族、億の姿は救世主である。

東亞の興廢此の一戦にあり、我が武士道の本領自己犠牲の精神を發揮すべきは今である。最早、從來の自由主義的資本主義的勞働觀は、潔きよく破棄しなければならない。國家のための勞働は

崇高である。たとへ其の表現形式に相違があるとも、其の労働が眞摯であり、國家に寄與するものである限り神聖であるのだ。此の名譽ある武士道的労働觀を以て、眞に一億一丸となり、未曾有の重大難關を突破しなければならぬ。敢て獨逸の如き義務の制度を要望するの必要はなく、制度の存否に拘らず、光輝ある皇國の歴史に對し、崇敬する吾等が祖先に對し、有難い皇國のために大東亞戰爭の輝しい勝利を獲得するために、擧つて努力を捧げようではないか。

附言

以上拙文ながら、要するところは、道路の維持を通じて、物資

# 道路工夫の選奨

の活用と、努力の圓滑なる獲得とを強調したつもりである。就中努力の提供に關しては、特に諸賢の指導的力を必要とするものである。

をりをりは あそぶいとまはある人の

いとまなしとて文讀まぬかな

遊ぶ暇のある人は現下にない筈ではあるが、案外、手近に、容易に提供し得る努力があるかも知れない。又、たとへ餘裕がないとしても、戰爭に勝つためには、是が非でも、努力の檢出を圖らなければならぬ。(昭和十六年暮)

本縣道路の延長は國道百八十二籽府縣道三千五百五十六籽にして之が修繕費は本年度豫算五十七萬九千餘圓一籽當百五十五圓なりとす、而して道路工夫三百餘名を之に配屬し専ら維持修繕に當

## 福岡縣土木部長

らしめつゝありと雖も交通量の増加に伴ふ道路の破損甚しきに對し一日の安逸を許す能はず即ち昭和二年以來各市町村毎に道路愛護に關する映寫會等を開催せしめて愛護心の鼓舞涵養に努むると